

1. 件名：福島第一原子力発電所における2月13日の地震によるタンク滑動への対応に係る面談
2. 日時：令和3年3月3日（水）13時00分～14時30分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

澁谷調査官、大辻室長補佐、高松専門職、伊藤係長

知見主任安全審査官、横山係長、市森係員、高木技術参与（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力規制事務所

坂本原子力運転検査官（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

プロジェクトマネジメント室 担当1名（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力発電所 担当7名（テレビ会議システムによる出席）

## 5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、2月26日の循環注水冷却・滞留水等に係る定例会において説明のあった2月13日の地震によるタンク滑動への対応に関して、原子力規制庁からの指摘に応じて検討した結果について、主に以下の説明があった。
  - 炉注水継続のために運用継続が必要な中低濃度タンクの当面の運用について、今後地震により連結管に異常が生じる場合に備え、以下のリスク低減対策をとる。
    - ✓ DエリアのR0淡水タンクでは、設けられている堰内容量以内でのタンク連結
    - ✓ H8-Aエリアの未処理水（Sr処理水）タンクでは、堰内への移送ポンプ等の準備
    - ✓ G1/G4南エリアの多核種除去設備処理済水タンクでは、地震時のパトロールの強化
- 原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、
  - 当面のリスク低減対策及び長期的対応に向けた原因調査（滑動量の解析評価含む）の具体的内容とスケジュールを説明すること
  - 1～4号機用汚染水貯蔵タンク（中低濃度タンク）以外の5・6号機滞留水用タンクも含めたタンク全体への2月13日の地震による影響と対応、これまでの点検内容と今後の点検計画を説明すること等を求めた。

## 6. その他

資料：

- 2/13の地震に伴うタンクの滑動について